

(写)

陳情第16号

新たな「敬老健康パス制度」素案の再考を求める陳情

令和6年2月28日 受理

令和6年2月29日 付託

厚生委員会

提出者

札幌市北区

市民自治を創る会

代表者 代表 山口 たか

(要 旨)

新たな「敬老健康パス制度」の検討に際しては意見交換会の状況を踏まえ、煩雑なポイント制度への変更ではなく、現行の枠組みを生かした制度改善を検討してください。

(理 由)

現行の札幌市の「敬老パス制度」は高齢者の公共交通を利用した活動の活性化に大きな役割を果たしてきていますが、利用できない市民もいる、或いは高齢化比率の増加に伴う財源の問題等があることは十分、理解でき、その見直しが必要であることは十分承知しています。しかし、札幌市が新たに提案している制度は唐突に「健康増進!」を理由にスマホアプリ等を活用した煩雑なポイント制度を設けたものであり、未利用者をさらに増加させかねません。また、利用額も大幅減額であり、各区で行われた「意見交換会」でも多くの市民の戸惑いの声が上がっています。健康増進や健康寿命の延伸は、福祉施策として検討すべきであり、交通政策・あるいは交通アクセスの問題と分けて検討すべきです。

市民からの声、各区での意見、そして札幌市の公共交通システムの実情を十分に踏まえたうえで、高齢者のための優遇運賃制度のあり方を検討すべきであり、札幌市の「素案」はあまりに安易です。再考を強くお願いします。